

令和5年度 決算報告

城里町の令和5年度決算が9月の定例会で認定されました。町民の皆さんに納めていただいた税金や国・県からの補助金などがまちづくりのためにどのように使われたのかをお知らせします。

歳入 105億4,176万3千円
前年度比1.7%減

一般会計

歳出 99億4,964万1千円
前年度比2.7%減

町税の内訳と町民1人あたりの町税負担額

町民1人あたりに使われたお金

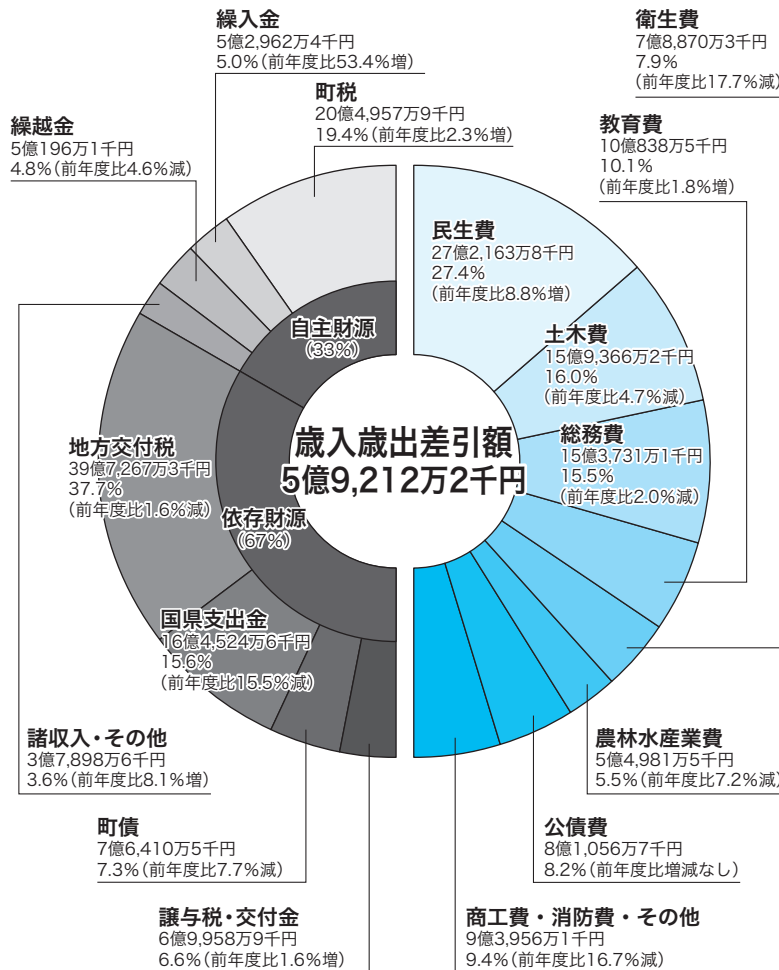
町民税
8億1,111万4千円
1人あたり
45,215円

固定資産税
9億8,449万5千円
1人あたり
54,880円

軽自動車税
8,602万4千円
1人あたり
4,795円

町たばこ税
1億3,664万5千円
1人あたり
7,618円

入湯税
3,130万1千円
1人あたり
1,745円



民生費
151,716円
高齢者福祉、
児童福祉

土木費
88,838円
道路整備、
公共住宅の管理

総務費
85,697円
庁舎管理、
徴税、選挙

教育費
56,212円
学校教育、
社会教育

衛生費
43,966円
健康診断、
ごみ処理

農林水産業費
30,649円
農林水産業の
振興など

公債費
45,185円
町の借金の
返済金

**商工費・消防費・
その他**
52,374円
商工業の振興、
消防団の運営など

**一般会計
歳出総額**
554,637円

※ 令和6年3月31日現在の人口17,939人で算出

歳入

町債は臨時財政対策債の発行抑制や合併特例債発行額の減少により、前年度比7.7%の減となりました。地方交付税はごみ処理施設等整備事業に対し交付された震災復興特別交付税が減少したことなどにより、前年度比1.6%の減となりました。

一方で諸収入等はふるさと納税の大幅な増加のほか、企業版ふるさと納税や一般寄附金の受け入れなど寄附金の増により、前年度比8.1%の増となりました。

歳入は、昨年度と比べ、町税や諸収入などの自主財源が増加し、地方交付税や国県支出金などの依存財源が減少したため、歳入総額は1.7%の減となりました。

歳出

衛生費では、常北・七会の両保健福祉センター施設改修費が減少したことにより、前年度比17.7%の減となりました。民生費では、物価高騰対応重点支援給付金事業の実施などにより前年度比8.8%の増となりました。商工費では、令和4年度に実施した事業者等原油価格・物価高騰対策支援金事業や、城里元気アップ振興券事業費が減額したことにより、前年度比30.2%の減となりました。農林水産業費においても令和4年度に実施した農業資材高騰対応応援給付金事業の減をうけて、前年度比7.2%の減となりました。

その他、総務費や土木費の減少により、歳出総額は2.7%の減となりました。